

歳入歳出決算を認定・補正予算（第8号）を可決

「平成28年度香美市一般会計歳入歳出決算」の審査を行いました。

「平成29年度香美市一般会計補正予算（第8号）」を可決

Q 生活保護費返還金で不納欠損が昨年より多いが。

A 督促・催促をし訪宅も行ったが、本人に会えず時効となった。

Q マイナンバーカード交付が平成29年3月末累計で1128枚となっている。窓口の受付状況について。

A 思っていたより、交付申請枚数が少ない。普及について国も施策を打っている。

Q 職員研修、メンタルヘルスケア等の取り組みの効果は。

A 職員研修は、防災研修や人権研修を行い、業務に生かしている。また、ストレスチェックを行い、職場全体の配置や、人事を考慮したりしている。引き続き行う必要がある。

Q 地域福祉コーディネーターの確保、研修等の費用を来年度予算でつけるように。

A 社会福祉協議会のほうで担ってもらいたい。

Q 観光協会と指定管理契約している、別府森林総合利用施設の決算収支状況は。

A べふ峡温泉は670万円の赤字だが、観光協会職員の人件費が低すぎる。経営診断を行い、来年度の指定管理料を検討する。

Q 災害時協力井戸整備事業の今後の計画は。

A 自主防災組織や、自治会に整備事業補助の利用を今後も呼び掛ける。



主な補正

人事院勧告による職員期末手当や、給料等の追加。

林業現場におけるIoT利活用による地域IoT実装推進事業の追加。

台風21号での、公共土木施設災害復旧費および農林水産業施設災害復旧費を追加。

新町西町線整備事業の事業費変更による減額。

事業計画が不採択になったことによる地域林業総合支援事業費補助金の減額。

予算決算常任委員会を設置しました

本市議会の予算決算審査は、総務・教育厚生・産業建設の3常任委員会が一堂に会する連合審査会方式で行っていましたが、議会改革の一環として委員会条例を改正し、予算決算常任委員会を設置しました。

今後、予算決算関連議案は、議員全員が参加する予算決算常任委員会に付託され、その後、3常任委員会が所管する事務ごとに分割する分科会方式で、より詳細な議案の審査・調査を行います。